

大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

夏休み～地域に広がる子どもの居場所～

教育委員会では、コミュニティ・スクール事業の一環として、夏休み中の子どもの居場所づくりに取り組みました。

大槌学園前期課程・吉里吉里学園小学部の家庭に「おおつち こども おうえんまっぷ」(子どもの居場所として受け入れ可能な施設の地図)を配布し、子どもの居場所について周知するとともに、OLAIや吉里っ子スクールによる学習支援をはじめ、カタリバによる5・6年児童対象の夏期学習会、中央公民館赤浜分館や吉里吉里分館の開放や体験学習、東京大学大気海洋研究所「おおつち海の勉強室」の見学の受け入れなど、夏休みならではの企画をたくさん実施していただきました。



「おおつち こども おうえんまっぷ」



①理科実験教室 ②裁縫教室 ③新割り体験 ④学習会 ⑤ボードゲーム ⑥屯所見学 ⑦神社作法教室 ⑧スポーツ吹き矢体験 ⑨缶バッジづくり ⑩木工教室 ⑪紙飛行機づくり ⑫座禅体験 ⑬「海の勉強室」見学 ⑭テント張り体験 ⑮スポーツチャンバラ体験

今回の子どもの居場所づくりにあたり、依頼を快く引き受け、ご協力いただいた皆様に心より御礼を申し上げます。このような機会を機に、「地域で子どもを育てる輪・見守る輪」がさらに広がっていくことを期待しています。

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校
ホームページでも
行事の様子を
発信しています！

地域を舞台に学びを深める大槌高校生！

大槌高校では「三陸みらい探究」という授業を通して、大槌町を舞台に様々な活動を行っています。今回取り上げるのは、1年生の「自分プレゼンテーション」と2年生の「マイプロジェクト・フィールドワーク」。町内の中学生や、大人との交流を通して成長する生徒たちの様子をお伝えします！

自身の経験を後輩のために！「自分プレゼンテーション」

1年生は入学から約3ヶ月をかけて、自分に影響を与えた過去の経験を振り返り、そこから得た学びを語る「自分プレゼン」を作成します。7月8日には大槌学園・吉里吉里学園の9年生に対して発表会を実施しました。生徒たちは、部活動や高校受験を通して学んだことや、お世話になった人に対する感謝の気持ち等を、1人ひとりが自分の言葉で語りました。話を聞いた9年生からは「先輩の悩みに共感をしたし、私も諦めずに頑張ろうと思った」という感想が挙がりました。また、今年の1年生は昨年、9年生として高校生のプレゼンを聞いた生徒も多く「今度は自分たちが伝える番」と意気込んで発表に臨む姿が印象的でした。

大高生 にインタビュー



1年
愛野 愛翔 さん

Q. どんな内容のプレゼンを行いましたか？

吉里吉里学園でお世話になった先生のおかげで、苦手だった数学が好きになった話をしました。その先生には、高校受験の時も丁寧にサポートしていただいて無事に合格することができたので、とても感謝しています。

Q. 自分プレゼンを経験してみての感想を教えてください。

僕は人前で話すタイプの人ではなかったけど、この経験を通して、人前で話すことの楽しさを感じました。中学の後輩や先生方と久しぶりに会えたことも嬉しかったです。



地域の大人に学べ！「マイプロジェクト・フィールドワーク」

2年生は1年間かけて、自身の興味・関心を軸にテーマを設定してプロジェクト活動を行う「マイプロジェクト」に取り組んでいます。7月20日には、自身のテーマをより深めることを目的に「マイプロジェクト・フィールドワーク」を実施し、49名の生徒が、町内を中心とした19の事業所に分かれて調査活動や体験活動を行いました。生徒からは「講師の方が自分の質問に真剣に答えてくれて嬉しかった」や「興味のある分野に対する視野が更に広がった」といった感想が挙がりました。フィールドワークを終えて学校に戻ってきた生徒はどの子も充実感に満ち溢れた表情をしており、中には「今回の機会を通して、更に知りたいことが出てきたのでまた訪問したい」といった、再訪問を希望する声も挙がっていました。

大高生 にインタビュー



2年
小笠原 瞳 さん

Q. どんなテーマで活動していますか？

私は「視覚障害を持っている方の事故を減らすためには？」というテーマで活動をしています。小さい頃に見たテレビ番組をきっかけに興味を持ちました。将来も障害者支援の仕事に就きたいと考えているので頑張りたいです。

Q. フィールドワークを経験してみての感想を教えてください。

兄も大槌高校に通っていましたがその時には無かった活動で、私の代で経験できて良かったです。優しく迎え入れてくれて嬉しかったし、学校の中だけだと分からなかったことを知れて、今後の活動に対する意欲が上がりました。

